



地域に根差した地元企業

- 1970年 リズム時計工業㈱会津工場の工機部として発足
- 1977年 リズム時計100%出資の子会社として リズム工機株式会社現地に設立
- 1998年 東北リズム株式会社へ改称

リズム時計工業で作る目覚まし時計、掛け時計用の金型、治工具の製造部門が当社の起源です。設立以来金型（プレス金型、樹脂金型）を一貫して造ってまいりました。多くの人々、多くのお客様に支えられ積みあがった金型数はプレス金型五千数百型、樹脂型に至っては一万有余型となりました。

産業構造の変化に伴い、自動車、家電等の製造メーカーが人件費の安い海外へと進出しておりますが、東北リズムはこれからの10年、20年も引き続き会津から世界へ匠の技を発信し続けます。



農業の根幹が「米」、産業の根幹は「金型」

日本農業の根幹はやはり【米】です。米を食べない日は1日としてありません。特に会津の米は特Aランクを長年維持しています。

一般の方々は、金型自体を見ることが無くても、金型で生産したのを見ない、触れない日は1日としてないと思います。

「金型」は工業製品には無くてはならない、産業の根幹をなすもので、産業の【米】と言われるゆえんです。

当社はお客様より、部品の図面をいただき、図面の製品を忠実に再現する。射出成形金型、プレス金型を作っております。

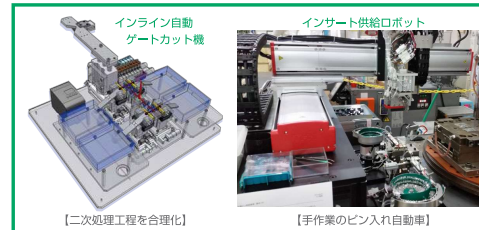


千分の一ミリの目視・触感 ～ 技術者のプロ集団育成 ～

20年前には製図板で1点1点金型の部品を図面化しておりました、少ないものでも1型図面100枚も必要でしたが、現在はCAD化が進み、図面レス、紙レス 加工データで直接加工をして部品を作るのです。

すべて1ミクロン（1mmの千分の1）単位の部品を1つ1つ組み立てますが、ここで熟練の匠の技が発揮され、目視・触感で微妙な調整をして仕上げます。37年で積み上がった金型はプレス金型5,000型樹脂金型10,000型を数えます。ここに新興国の追随を許さない実績と技があるのです。

当社の従業員270名のうちで各種国家技能検定有資格者107名、各種検定認定者65名に上り、従業員の65%は何らかの資格を保有しております。当社は技能の習得、資格の取得に積極的にかかわり人材の育成を図り、社会人・企業人としての人材育成に努めており、技術を伝承維持発展させております。技術を数値化し、デジタル的に作業効率を図り、より確実に技術の伝承を進めてまいります。



「ものづくりニッポン」の誇りを胸に ～ 地元会津の産業振興へ ～

時計製造→フィルムカメラ部品→デジタルカメラ／携帯カメラ部品製造とその時代時代にあった部品を生産し今日に至っております。

大量生産のものは人件費の安い海外へ、国内生産は少量品種のものしか残らない、昨今の状況でいかに競争力を持ち、永続的に企業活動を進めるかが重要となってきます。そこで当社はより早く効率的に生産する仕組みに取り組んでおります。通常成形後の二次処理を別工程で実施していたのを、成形サイクルの中で実施することで、二次処理作業を廃止し、工程内在庫の低減を図り30%合理化することが可能となりました。

また作業員が手作業で実施していたピン入れ作業を、自動化することで入れ忘れや、深夜の作業の廃止ができ、生産性もアップいたしました。

小さな改善を積み重ねることで、海外メーカーに負けない競争力を持つと信じて、変わることなく会津でものづくりをしていきます。